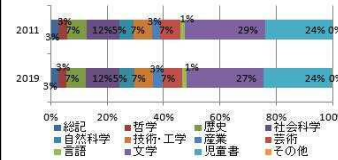


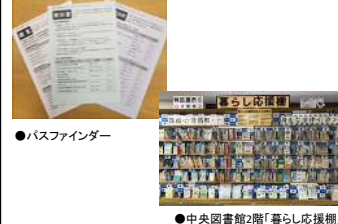

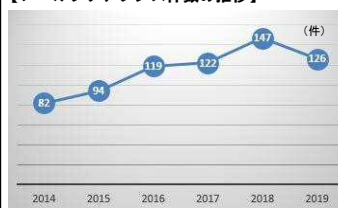






第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）																			
				令和2年度（2020年度）の取組目標	令和2年度（2020年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2										
基本方針1 市民の生活や活動に役立つ図書館																										
◆施策の方向性1◆ 幅広い分野の資料の収集																										
1	図書館サービス係	蔵書構成の再構築	限られた財源の中で、幅広く役立つ本を収集するために、次の手順を踏む ◆現状構成の分析 ⇒選定決定手順見直し ⇒選定基準の見直し（複本・保存・更新も含む） なお、全館に関わる事柄であるため、プロジェクトを設立してH24年度末（2012年度末）を目途に検討	【令和元年度（2019年度）取組結果】 平成26年度（2014年度）策定の「蔵書構成の再構築に向けて」の基本方針の実現のため、次のとおり資料の収集選定を行った。 ○寄贈図書の有効活用により、限られた財源の中でのタイトル数の確保を進めた。 ○施設数が多く予算も大きい「区民・地区センター図書館」の選書を中央図書館が管理することにより、全体的な観点から効率的な資料収集を図った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、蔵書構成の再構築の方針に沿った資料収集を進める。	【蔵書構成の推移】 	プロジェクトによる検討 要領改正	決定に基づき、逐次収集 蔵書構成の動向と収集計画案の提示	蔵書構成の動向と収集計画案の提示による収集	蔵書構成の動向による再構築の検証																	
2	調査相談係	郷土・行政資料の積極的な収集	◆現状分析（内部調査実施済） ◆公文書館と連携し、郷土・行政資料を確実に収集 ◆地区図書館、区民・地区センター図書室と連携した郷土・行政資料の収集方針の検討・改善	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○郷土・行政資料の収集は地区図書館等、公文書館も含め、多方面から積極的に情報収集を行い、遺漏がないよう努めた。札幌市出身団体・企業史等の発行情報収集に留意したほか、札幌市のみでなく、市政に生かせるような道内市町村独自の発行物も幅広く収集した。道と連携し行政資料収集を推進した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、郷土・行政資料の発行情報把握に努め、公文書館、地区図書館等との連携を継続していく。また、道行政情報センターと引き続き連携していく。	【郷土資料】 92,566点（平成24年度末（2012年度末）） →113,518点（令和元年度末（2019年度末）） 	現状分析 検討・強化	検討結果に基づき、多様な方法により積極的に収集し、配架する。	従来の行政資料の収集に加え、出版団体、指定管理受託者の出版物の積極的収集を推進する。	地区図書館、まちづくりセンター、公文書館等からの情報収集による地域資料の積極的収集。（地域住民が保有している古い資料や地域独自作成の資料、地域情報等の資料収集）	北海道庁の協力による道行政資料収集																
3	調査相談係	視聴覚資料の継続的な収集	◆機器更新（H23年度（2011年度））を踏まえ、新メディア（ブルーレイディスク等）への対応推進 ◆所蔵点数増加に伴う貸出点数増の検討	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○R元年度（2019年度）新規登録点数（H31（2019）.4.1～R2（2020）.3.31）CD：中央図書館ほか4館計830点 D V D（中央図書館のみ）95点。 ○レーザーディスクは視聴する利用者がいるため、今後の状況を見ながら中央図書館閉架書庫（書庫4）に移動させるか検討。 ○図書館用著作権許諾のブルーレイディスクの発売は現在も不透明な状態が続いており、現時点では購入には至らない。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、棚不足対策においてレーザーディスク保管場所移動を検討。 ○厳しい財政状況の中での収集方針の検討。 ○図書館用として著作権許諾されたブルーレイディスクの発売は、将来的に不透明な状態が続いており、今後の動向を注視していく。	【視聴覚資料数の推移】 (点) 	機器更新	新メディア（ブルーレイ）への対応検討の継続	視聴覚ブースの将来展望の検討	ちえりあ所蔵CDとの合体貸出。（約10000点）	保存棚の確保	視聴覚資料収集方針の検討															
◆施策の方向性2◆ 分かりやすく、使いやすい情報提供																										
4-①	調査相談係	レファレンス（※1）充実・機能向上とサービスの周知	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供（紙媒体とHP版）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○中央図書館は2月の蔵書一斉点検以降、コロナウイルスの関係で休館を続けていたため、昨年と比べると商用データベースの利用件数は減少する結果となった。 ○カルチャータイトにおいて、商用データベースを利用する催しを行い、利用促進のPRを行った。 ○パスファインダー（※2）については11件改訂、新たなものを1件作成し、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。 ○市民の暮らしをサポートする「暮らし応援棚」の資料の見直しを行い、医療ガイドラインに関する資料を多く購入・配架した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○図書・情報館と連携し、商用データベースの利用促進を図る。 ○パスファインダーを適宜見直ししていく。 ○「暮らし応援棚」の充実を目指し、利用者のニーズを探る。 ○オンラインレファレンスの開始（予定）	●パスファインダー 	オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 紙媒体作成、Web版準備	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。	パスファインダーの計画的新規作成	パスファインダーの改訂作業	パスファインダーHP版の運用開始・紙媒体との棲み分け確立	情報ガイドの作成 一調査相談係専門員全員による計画的作成															
4-②	図書・情報館	レファレンス（※1）資料の充実・機能向上とサービスの周知	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放 ◆各種ガイド・リスト・レファレンス資料の提供（紙媒体とHP版）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○新聞や雑誌の記事、論文や法令、企業・業界情報などさまざまなオンラインデータベース（24種）を用意し、創業、起業を考える来館者やビジネスパーソンが利用できるようにしている。 ○セミナーや展示のテーマに合わせ、調べものにも有用なブックリストを作成し、配布している。 ○リサーチカウンター相談件数（4月～2月 合計5,413件、月平均492件、※利用案内を除く） 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○データベースの活用をさらに促進するために、利活用のためのミニセミナーの開催や外部専門団体との連携の中で（無料相談窓口）でもデータベースを活用した高度な相談を行えるようにしていく。 ○オンラインレファレンスの開始（予定）	●リサーチカウンター（図書・情報館） 	来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。					来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。	開館準備 供用開始														
5	調査相談係	非来館型レファレンスサービスの充実	◆メールレファレンスの検討と開始 ◆HP（ホームページ）上でレファレンス事例集・FAQ・パスファインダーを提供	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○メールレファレンスの件数は昨年までと同様の数字にとどまった。しかし、内容が専門的なレファレンスも多くなり、レファレンス1件に費やす時間は増えたように感じる。 ○HP上では31件のレファレンス事例を公開した。今後も、興味深い内容の事例を厳選して公開していく。 ○パスファインダー（※2）については11件改訂、新たなものを1件作成し、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○メールレファレンスの回答の質の向上を図っていく。 ○パスファインダーを適宜見直ししていく。 ○ホームページ上でレファレンス事例の公開を継続して行う。	【メールレファレンス件数の推移】 	メールレファレンス検討 レファレンスデータの蓄積	メールレファレンスの提供、回答の質の向上を図る。	HPから入るメールレファレンスの表示を見やすくして利用者を増	HP上でレファレンス事例を提供、事例公開の継続	HP上でパスファインダーを提供、新規作成および改訂の実施	セミナーやイベント開催時にレファレンスのPRを実施															

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

：検討 ：一部（試行）実施 ：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）										
						2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	
6	調査相談係	■他の図書館との情報共有の推進	◆レファレンス協同データベースへの事例提供・公開（H23年度（2011年度）開始） ◆NDLサーチ（国立国会図書館サーチ）への円滑なデータ移行、所蔵目録送付の継続等により、全国の図書館が保有するデータの共同利用を推進	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○北海道や札幌市に関係した事例を中心に31事例を「レファレンス協同データベース」に提供した。		レファレンス協同データベースへのレファレンス事例の提供継続、公開事例の拡大										
				【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○「レファレンス協同データベース」は、今後参考となるような事例があった際に全国の図書館で情報を共有していく目的であるため、札幌、北海道の事例を中心として共有すべき事例を引き続き積極的に公開していく。		NDLサーチ（国立国会図書館サーチ）へのデータ送付継続により、情報共有を推進										
7-①	図書館サービス係	■図書館サービスの高度化等の推進	◆蔵書検索システムの更新に合わせて目録を高度化するためMARCタイプを導入 ◆教育会図書や雑誌等の目録の再整備・高度化	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○NDCC（日本十進分類法）9版から10版への改訂に伴い、分類変更について個別に確認が必要なMARCなしデータを抽出し、作業手順を定めた。		新MARC導入準備										
				【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○H30に定めた作業手順に従い、個別確認が必要な資料の分類変更要否の確認及びデータ整備を進めるとともに、図書・雑誌の目録整備を適宜実施し検索利便性の向上を図っていく。		一部実施 図書・雑誌目録再整備・高度化										
7-②	調査相談係	■図書目録の高度化等の推進	◆蔵書検索システムの更新に合わせて目録を高度化するためMARCタイプを導入 ◆教育会図書や雑誌等の目録の再整備・高度化	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○郷土資料は過去に作成した書誌情報にページ数、内容紹介等を追加した。 ○逐次刊行物の巻号登録及び内容細目を進めた。		新MARC導入準備										
				【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○郷土資料は引き続き詳細情報の追加作業を継続する。 ○逐次刊行物の巻号登録及び内容細目を継続する。		一部実施 図書・雑誌目録再整備・高度化										
◆施策の方向性3 ◆ — 電子サービスの充実 —																
8-①	調査相談係	■紙媒体と電子媒体による情報提供	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放《既出4》 ◆インターネット専用端末に調べ物用リンク集等を掲載 ◆無線LAN環境の整備の検討	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○オンラインデータベースと来館者への開放は事業No.4を参照のこと。 ○無線LAN環境については保守業者による定期的な電圧測定により、安定提供を実現している。また、定期的なセキュリティキーの変更も継続して実施した。		データベースの拡充、調べ物リンク集の検討・試行										
				【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○現在2Fのキャレルコーナーに限定しているWi-Fi利用を全館に拡大する是非について検討する。		調べもの用リンク集整備 調べもの用リンク集集載継続、充実。 来館者自身がオンラインデータベースを活用するための支援をする。 無線LAN環境の整備が整えられていることのPRを行うとともに、快適な環境で利用できる場の提供を続ける。 無線LAN環境の全館拡大に向けた検討										
8-②	図書・情報館	■紙媒体と電子媒体による情報提供	◆オンラインデータベースの拡充と来館者への開放《既出4》 ◆無線LAN環境の整備の検討	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○新聞や雑誌の記事、論文や法令、企業・業界情報などさまざまなデータベース（24種）を用意し、創業、起業を考える来館者やビジネスパーソンの利用できるようにしている。 ○館内では無線LAN環境（Sapporo City Wi-Fi）を整え、インターネットが利用可能な環境を整えている。 ○Facebook、Instagram（SNS）を活用し、当館のセミナー情報や利用のヒントなど、利用促進が図られるような情報提供を行っている。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○データベース席の利用件数が少ないことから、その利用促進のために、ミニセミナーの開催や外部専門団体との連携の中で（無料相談窓口）でもデータベースを活用した高度な相談を行えるようにしていく。 ○無線LAN環境の安定的な稼働を行えるよう調整を行っていく。		開館準備 来館者がオンラインデータベースを利用しやすい環境づくりを行い、利用の促進を図る。 無線LAN環境の安定的な稼働の継続 SNSを活用した情報発信の継続										
9	地域支援係	■所蔵資料の電子書籍化の推進	◆電子化を拡大する資料の範囲を決定⇒実施	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○「さっぽろ絵本グランプリ」受賞作品5点、進路探究オリエンテーションで市内小学校3校の児童が作成した「おしごと探究4コママンガ」を電子書籍化するなど、電子書籍コンテンツの充実を図った。		電子書籍化実施 ○池田コレクション（H30（2018））、生物多様性さっぽろ絵本コンテスト受賞作品（H30（2018））、「おしごと探究4コママンガ」、行政資料等 えほん図書館の開設と連動した独自資料追加 ○さっぽろ絵本グランプリ受賞作品 図書・情報館の開設と連動した独自資料追加										
				【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○地域資料を中心に、利用者にとって価値のある資料の電子書籍化を検討、実施していく。 ○オンライン読み聞かせ（YouTube）の実施		実証実験 範囲検討										
10-①	地域支援係/情報化推進担当係	■電子書籍貸出サービスの推進	◆電子書籍の貸出の研究⇒実施	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○電子図書館内でテーマを決めて特集を組み、定期的に面出しする資料の入れ替えを行った。 ○図書・情報館でも、電子書籍を閲覧できるようにした。		【電子書籍の貸出件数】 23,339冊（平成27年度末（2015年度末）） →51,172冊（令和元年度末（2019年度末））										
				【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○電子図書館の認知度を向上させるため、電子図書館の活用を盛り込んだ事業や特集展示の実施を検討する。また、更なる利用の増加に向け、市で著作権を持つ市政資料や地域資料等の電子化を促進するほか、販売コンテンツについては、使用料更新の際に貸出状況等を踏まえて本の入れ替えを行うなど内容の充実を図り、電子書籍の魅力の向上に努める。		実証実験 基本設計 開発 サービスの実施とシステム改善 新しいコンテンツの充実と利用者PR えほん図書館の開設とタイアップしたPR強化 図書・情報館の開設とタイアップしたPR強化										

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

：検討 ：一部（試行）実施 ：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）													
				令和2年度（2020年度）の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2				
10-②	えほん図書館	電子書籍貸出サービスの推進	◆デジタルネイティブ世代への普及・啓発 ◆さっぽろデジタル絵本事業	◆令和元年度（2019年度）取組結果 ○デジタルネイティブ世代への普及・啓発 ○デジタル絵本や教育コンテンツ（30作品）を館内で閲覧できるタブレット端末（IROMI）2台を来館者に貸出しているほか、年齢別おはなし会や幼稚園・保育園等向けおはなし会（団体利用の一種）においてデジタル紙芝居（10作品）を活用している。 ○「デジタル絵本づくり」等、絵本をテーマにデジタル機器を活用した「デジタル絵本ワークショップ」を開催（計5日開催、784人が参加）。 ◆さっぽろデジタル絵本事業 ○電子図書館のコンテンツ充実、絵本文化の普及・発展、札幌の魅力発信等を目的に創作絵本のコンクール「第4回さっぽろ絵本グランプリ」を開催。33作品の応募があり、受賞作品（5作品）を電子図書館に登録。 ○大正期絵本・絵雑誌等をデータ化したものを電子図書館にて提供中 ○ブックリストを電子図書館にて提供	◆令和2年度（2020年度）取組目標 ○「デジタル絵本ワークショップ」事業の企画の充実 ○これまで実施してきたさっぽろ絵本グランプリ受賞作品等の市民への周知を推進 ○大正期絵本・絵雑誌等をデータ化したもの、ブックリストを電子図書館において提供															
11	調査相談係	情報リテラシー支援	◆資料・情報調査に関するパンフレット・マニュアルの整備 ◆資料・情報調査に関する講座を開催	◆令和元年度（2019年度）取組結果 ○バスファインダー（※2）については11件改訂、新たなものを1件作成し、紙媒体での交付及びホームページ上で公開した。 ○レファレンス事例集の発行はなし。HP上では31件のレファレンス事例を公開した。	◆令和2年度（2020年度）取組目標 ○バスファインダーを適宜見直ししていく。 ○昨年度分のレファレンスをまとめたレファレンス事例集を発行する。															

基本方針2 本・人・文化を結ぶ図書館

◆施策の方向性1◆ — 新たな文化との出会いの場の提供 —

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）取組結果		参考（写真・ホームページ等）	取組時期（年度）													
				令和2年度（2020年度）取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2				
12-①	地域支援係	講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	◆令和元年度（2019年度）取組結果 ＜児童向け行事＞ 日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力、わんわん読み聞かせ会（協力：公益社団法人日本動物病院協会）の新規実施 ＜児童・一般向け行事＞ カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」 ＜一般向け行事＞ サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計5回）、美術への誘い（北海道美術館協会との共催、計2回）	◆令和2年度（2020年度）取組目標 ○より一層の他団体との連携を図るとともに、様々な年代の利用者が興味を持ち図書館へ来館するきっかけづくりとなるような行事・展示の内容充実を図っていく。															
12-②	地域支援係・図書館サービス係	講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に応える事業展開）	◆令和元年度（2019年度）取組結果 ＜子ども向け行事・展示＞ 読み聞かせボランティアによるお話の会128回、一日司書体験5回、ピブリオバトル（※3）1回、ぬいぐるみのお泊り会2回、工作会2回、映画会2回、せかいの絵本おはなし会2回、展示4回（おぼけの絵本、冬の絵本等）、ミニ展示10回（元号、自由研究、天気等） ＜中学・高校生向け行事・展示＞ 常設展示テイクオフ（部活の本、カバーイラストコンテスト対象作品等）、カバーイラストコンテスト1回、脱出ゲーム1回 ＜一般向け展示＞ 事業No13-①と同じ	◆令和2年度（2020年度）取組目標 ○平成27年度（2015年度）から中学生向けの本のコーナー（ティーンズの森）を立ち上げ中高生向けサービスに力を入れており、引き続き中高生向けの行事・展示の充実を図っていく。 ○一般向け展示の詳細は、事業No13-①のとおり															

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）											
				令和元年度（2019年度）取組結果	令和2年度（2020年度）取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2		
12-③	調査相談係	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に伝える事業展開）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○一般向け行事 映画「がんと生きる言葉の処方箋」特別上映会&監督トークイベント、図書館で知る防災情報セミナー「ブラックアウトから1年 ムリなくできる備えと防災」、国際交流セミナー「Hello, World!〜魅力たっぷり！ドイツとロシア〜」、国際交流セミナー「中央図書館から始める世界の旅〜留学生文化紹介セミナー2019〜」、講演会「それ捨てるんですか？！身近すぎてわからない「まち文化財産」の価値」、講演会「五稜星と開拓使、そして開拓使佐酒醸造所」 ○展示 企画展「砂澤ピッキ」、姉妹都市関連展示「もしも英語を話せたら世界に友だち100人できるかな？」 企画展「まち文化商店街〜さっぽろの「くらし」集めました」、札幌演劇シーズン2019夏×中央図書館連携展示「寺山修司×山田太一」、図書館総合展2019ブース展示、企画展示「おめでとう！絵本作家あべ弘士さん・デビュー30周年」、所蔵資料特別展「開拓使とビールのおいしい関係」、資料展示（「終戦の夏〜小説の中のシベリア抑留」、ミニ展示（「札幌の公園・緑地」、「くらしとごとの情報ガイド〜さっぽろの行政資料」、「マンガで知る札幌ものがたり」、「北の山めぐり」、「大学とまちづくり〜つながる未来へ」、「北海道民あるある！」、「北海道ゆかりの絵本」、「図書館でみる本〜大きい本・小さい本」、「北海道の重大ニュース！（平成版）」、「北海道の哺乳動物」） 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○一般向け行事 所蔵資料展関連講演会、暮らしに役立つ情報探索セミナー ○展示 企画展「札幌市の図書館70年のあゆみ」、所蔵資料展「島義勇と札幌さっぽろ開拓ものがたり」（仮称）、さっぽろ資料室ミニ展示月1回（「Flower Garden in Hokkaido」ほか）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○子どもの発達段階に応じた年齢別おはなし会、えほんとわらべうたの会のほか、登録ボランティア団体によるおはなし会等行事を開催 ○乳幼児とその保護者を対象として、図書館デビュー（プロのアーティスト等が出演する読み聞かせイベント）、ぬいぐるみおとまり会（子どものぬいぐるみを預かり、ぬいぐるみが夜の図書館を探検する様子を撮影し、迎えにきた子どもにぬいぐるみと写真アルバムを渡し、ぬいぐるみの選んだおすめの本を紹介する）、各種ワークショップ（飛び出す絵本づくりや入口ガラス面に絵本にちなんだ絵を描く企画等）を開催 ○「絵本講座」として大手出版社の絵本編集者による講座を開催 ○「デジタル絵本ワークショップ」として、デジタル絵本づくりやデジタル機器を活用した絵本バッグの創作体験等を開催 ○小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を継続実施 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップ、「めざせ！えほんマイスター」の継続実施	●映画「がんと生きる言葉の処方箋」特別上映会&監督トークイベント ●講演会「それ捨てるんですか？身近すぎてわからない「まち文化財産」の価値」	年度ごとに事業の柱を立てて実施 社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する講演会や展示の検討、実施 他団体との連携した事業の実施 えほん図書館、図書・情報館関連の行事や展示の取組	一部実施										
12-④	えほん図書館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆発達段階に応じた子ども向け行事の充実 ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に伝える事業展開）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○子どもの発達段階に応じた年齢別おはなし会、えほんとわらべうたの会のほか、登録ボランティア団体によるおはなし会等行事を開催 ○乳幼児とその保護者を対象として、図書館デビュー（プロのアーティスト等が出演する読み聞かせイベント）、ぬいぐるみおとまり会（子どものぬいぐるみを預かり、ぬいぐるみが夜の図書館を探検する様子を撮影し、迎えにきた子どもにぬいぐるみと写真アルバムを渡し、ぬいぐるみの選んだおすめの本を紹介する）、各種ワークショップ（飛び出す絵本づくりや入口ガラス面に絵本にちなんだ絵を描く企画等）を開催 ○「絵本講座」として大手出版社の絵本編集者による講座を開催 ○「デジタル絵本ワークショップ」として、デジタル絵本づくりやデジタル機器を活用した絵本バッグの創作体験等を開催 ○小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を継続実施 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップ、「めざせ！えほんマイスター」の継続実施	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○Work（仕事に役立つ）関連としてビジネススキルを高めるようなセミナーを毎月1回（「起業のモヤモヤがカタチになる！〜一歩を踏み出すための相談窓口活用のおススメ〜」等）、Life（暮らしを助ける）、Art（芸術に触れる）関連のセミナーとして毎月1本（「あなたの野菜のおいしい活かし方〜趣味から副業まで〜」等）のセミナーを開催した。そのほか、市民交流プラザや札幌市、北海道大学との連携で随時、セミナーを行った。（40回開催、毎月Work系1本、LIFE、ART系1本を基本としている） 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○セミナーの質が維持できるように留意しながら、連携する専門団体を拡げつつ、利用者のニーズにそったセミナーを同ベース（月に2本）で開催していく。	●ガラスにお絵かきワークショップ ●えほんマイスター達成者への証明書授与 ●えほんとわらべうたの会 ●ぬいぐるみおとまり会	年度ごとに事業の柱を立てて実施 年齢に応じたサービスプログラムの開発と実施 乳幼児・保護者向け行事の実施 ○年齢別おはなし会 ○図書館デビュー ○ぬいぐるみお泊り会 ○絵本講座 ○ボランティア講座 ○各種ワークショップ ○めざせ！えほんマイスターの実施(H30〜) など 幼稚園・保育園などの団体利用の受け入れ											
12-⑤	図書・情報館	■講演会や展示などの充実	新規利用者の獲得及び興味の拡大を目標の中心に据え、図書館の独自性（蔵書）を活用した事業展開を行う。 ◆人と図書館の結びつけ（図書館へ足を運ぶきっかけとなるような事業展開） ◆知の拠点としての情報発信（利用者の知的好奇心に伝える事業展開）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○Work（仕事に役立つ）関連としてビジネススキルを高めるようなセミナーを毎月1回（「起業のモヤモヤがカタチになる！〜一歩を踏み出すための相談窓口活用のおススメ〜」等）、Life（暮らしを助ける）、Art（芸術に触れる）関連のセミナーとして毎月1本（「あなたの野菜のおいしい活かし方〜趣味から副業まで〜」等）のセミナーを開催した。そのほか、市民交流プラザや札幌市、北海道大学との連携で随時、セミナーを行った。（40回開催、毎月Work系1本、LIFE、ART系1本を基本としている） 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○セミナーの質が維持できるように留意しながら、連携する専門団体を拡げつつ、利用者のニーズにそったセミナーを同ベース（月に2本）で開催していく。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○1階図書室の展示回数26回（「北社夫のどくどくマンボウ昆虫展」、「平成から令和へ」、「活き活き健康、ウォーキング」、「夏を楽しむ」、「備えていますか？『地震』」「がんを身近に考える」など） ○令和元年度（2019年度）から札幌市各部署との「図書館を活用した連携事業」を開始し、各部署の事業と連動した図書展示を行うことにより、利用者に対し新たな図書との出会いを提供するとともに、本市の様々な事業に興味を持ってもらえるような相乗効果をもたらす取り組みを行った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○新刊を十分に購入できない中でも、テーマ別の図書展示実施により書庫の本が利用者の目に触れ出し出される機会が増えている。資源の有効活用のためにも、継続的に様々なテーマの展示を行う体制を維持していく。	●法テラス劇場	Work（仕事に役立つ）、Life（暮らしを助ける）、Art（芸術に触れる）に関連したセミナーの実施 関係団体と連携したセミナー等の実施	開館準備 供用開始										
13-①	図書館サービス係	■テーマ別の図書展示の実施	◆関心の喚起を狙った資料の再編成・複合化及び貴重資料・特殊コレクションの公開 ◆実展示とウェブ上での展示の効果的、複合的な利用 ◆展示資料のリスト等作成による資料利用の促進、関心喚起	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○1階図書室の展示回数26回（「北社夫のどくどくマンボウ昆虫展」、「平成から令和へ」、「活き活き健康、ウォーキング」、「夏を楽しむ」、「備えていますか？『地震』」「がんを身近に考える」など） ○令和元年度（2019年度）から札幌市各部署との「図書館を活用した連携事業」を開始し、各部署の事業と連動した図書展示を行うことにより、利用者に対し新たな図書との出会いを提供するとともに、本市の様々な事業に興味を持ってもらえるような相乗効果をもたらす取り組みを行った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○新刊を十分に購入できない中でも、テーマ別の図書展示実施により書庫の本が利用者の目に触れ出し出される機会が増えている。資源の有効活用のためにも、継続的に様々なテーマの展示を行う体制を維持していく。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○1階図書室の展示回数26回（「北社夫のどくどくマンボウ昆虫展」、「平成から令和へ」、「活き活き健康、ウォーキング」、「夏を楽しむ」、「備えていますか？『地震』」「がんを身近に考える」など） ○令和元年度（2019年度）から札幌市各部署との「図書館を活用した連携事業」を開始し、各部署の事業と連動した図書展示を行うことにより、利用者に対し新たな図書との出会いを提供するとともに、本市の様々な事業に興味を持ってもらえるような相乗効果をもたらす取り組みを行った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○新刊を十分に購入できない中でも、テーマ別の図書展示実施により書庫の本が利用者の目に触れ出し出される機会が増えている。資源の有効活用のためにも、継続的に様々なテーマの展示を行う体制を維持していく。	●図書室の展示「平成から令和へ」(中央図書館)	各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書室展示 各分野において図書館および資料への理解をすすめる、関心を喚起する図書室展示 図書館内リニューアルにて展示スペースの更新 図書館を活用した札幌市各部署との連携事業と連動した展示等の実施	展示スペース更新										

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）																			
				令和2年度（2020年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2										
◆施策の方向性3◆ — 子どもの読書環境の充実 —																									
19-①	地域支援係	■普及事業の充実	幼児～高校生の読書促進施策の充実 ◆子ども向け行事の充実（ボランティアとの協働、全館行事の強化） ◆毎年度ごとに、子ども読書チャレンジプロジェクトの企画更新を続ける	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○こどもの読書週間（4/23～5/12）及び読書週間（10/27～11/9）に係る全館特別行事、年間を通して様々な行事を行う子ども読書チャレンジプロジェクトの実施等により、子どもたちが図書や図書館に触れる機会を多数創出した。 【小学生向け行事】進路探究オリエンテーション、【中高生向け行事】図書局員による特色ある取組発表、中・高生ビブリオバトル 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○第3次札幌市子どもの読書活動推進計画の達成に向け、過年度実施内容の検証、関係部との協議等を行い今後の事業内容のレベルアップを図る。 また、令和3年度（2021年度）中に次期計画を策定する予定であることから、今までの実績を踏まえつつ、さらに効果ある事業のあり方を検討する。 ○書き終わった「読書ノート」を提示することで、称号入り缶バッジがもらえる「めざせ！子ども館長」を実施		第2期子ども読書チャレンジプロジェクト ○進路探究オリエンテーション ○図書局員による特色ある取組発表 ○中・高生ビブリオバトル など																			
19-②	えほん図書館	■普及事業の充実	乳幼児の読書促進施策の充実 ◆親子で絵本に親しまっかけづくりの場の提供 ◆図書館を利用する習慣がない乳幼児の来館機会の創出	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○子どもの発達段階に応じた年齢別おはなし会、えほんとわらべうたの会のほか、登録ボランティア団体によるおはなし会を開催 ○乳幼児とその保護者を対象として、図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップなどを開催 ○「デジタル絵本ワークショップ」として、デジタル絵本づくりやデジタル機器を活用した絵本バッグの創作体験等を開催 ○小学校入学前までに絵本を1,000冊読むことに挑戦するプログラム「めざせ！えほんマイスター」を継続実施 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○図書館デビュー、ぬいぐるみおとまり会、各種ワークショップ、「めざせ！えほんマイスター」の継続実施	 ●図書館デビュー  ●デジタル絵本ワークショップ	第2期子ども読書チャレンジプロジェクト ○図書館デビュー 普及事業の実施と充実 ○年齢別おはなし会 ○図書館デビュー ○ぬいぐるみお泊り会 ○絵本講座 ○ボランティア講座 ○各種ワークショップ ○めざせ！えほんマイスターの実施（H30～） など																			
20-①	地域支援係	■図書展示やブックリストの充実	◆こどもの森内の時節や季節に応じた展示を充実し、児童生徒の読書への関心を喚起する ◆ミニ展示中の資料をリスト化して配布するほか、Web上でも公開する	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○時節に応じた展示・装飾をこどもの森内で実施。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き児童・生徒の興味・関心を喚起するような展示テーマを選択するとともに、効果的な展示を行っていく。 ○館内にて配布している人気シリーズ本のリストを更新し、HP上で公開する。	 ●こどもの森（中央図書館） 展示（スポーツ）の様子	各種展示の継続とPRの強化、一般資料展示との連携 関係団体作成の読書関連リストの展示と、ミニ展示における展示資料リストの作成 図書館内リニューアルによるこどもの森の展示の充実 ぬいぐるみのお泊り会等の行事と連携したおすすめ本の紹介や展示 発達段階に応じた資料の充実へのステップとするヤングアダルト関連本の展示																			
20-②	えほん図書館	■図書展示やブックリストの充実	◆対象年齢別、テーマ別におすすめの絵本を紹介	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○おすすめ絵本を紹介するブックリストの配布及び電子図書館における公開 年齢別ブックリストと、「のりもの」「おぼけ」などテーマ別ブックリストを作成し配布している他、同コンテンツを電子図書館にて公開した。 ○館内の特設展示コーナーやジャケット架にて、子どもに身近な季節やテーマ等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら実施している。「お仕事の絵本」「たなばた絵本特集」「自然と遊ぶ」等 【令和2年度（2020年度）取組目標】 OR元年度（2019年度）の取組を継続実施	 ●ブックリスト  ●特設展示「お仕事の絵本」	対象年齢別のおすすめ絵本の紹介ブックリストの作成 本の紹介や展示																			
21-①	地域支援係	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆児童書研究資料の充実や各種目録を参考にした蔵書の充実 ◆児童サービス関係研修への参加や関係機関との情報交換等による児童担当職員への育成	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○引き続き児童研究資料を購入し充実を図った。外部講師（絵本作家）を招いて児童サービス研修を実施した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○児童研究資料の充実を図る。 ○外部講師を招いての児童サービス研修を予定している。	 ●児童研究室（中央図書館）	児童研究資料の充実等による適切な資料収集と、利用者に対する確かなアドバイスの実行 関係機関が主催する研修等への積極的参加と児童サービス関係者との意見交換によるスキルアップ 児童担当による出前講座での絵本読み聞かせ講義 児童担当による職員への絵本の読み聞かせ講義、子どもへの読み聞かせの検討と実施																			
21-②	えほん図書館	■発達段階に応じた図書、資料の充実	◆絵本文化に係る一般向け資料の計画的収集 ◆絵本への理解を深めることのできる蔵書環境の整備	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○令和元年度（2019年度）は以下のとおり資料を追加・更新 ・新刊絵本は、子どもの年齢別に必要なもの約900冊 ・既刊絵本は、紙芝居を含めて約200冊 ・絵本に関する一般書を約40冊 ○年齢別おはなし会やえほんとわらべうたの会等の開催時に読み聞かせとともに資料を紹介。 ○館内の特設展示コーナーやジャケット架にて、子どもに身近な季節やテーマ等の絵本を紹介する展示を定期的に入れ替えながら実施しているほか、年齢別、テーマ別のおすすめ絵本をブックリストで紹介。 【課題】 ○開館から3年が経過し、絵本の損耗が進み、修理や買換える必要がある本が増加。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 今後は、開架スペースの状況を見据え、新刊の購入数を減らし、既刊絵本の購入数を増やし、蔵書の更新ができるようにしていく。また、今後も館内の特設展示コーナーやジャケット架での絵本の紹介展示を展開していくと共にブックリストを活用し、来館者への情報提供に努めていく。	 ●特設展示「ポーロニャ・チルドレンズ・ブックフェア」  ●特設展示「北欧の絵本」	資料の充実 作品情報を展示、ブックリスト等で紹介 年齢別のお話会の実施等																			

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）										
				令和2年度（2020年度）の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2	
22	地域支援係	障がいのある子ども向け資料の充実	◆点字絵本、L1ブック等のほか、関係団体との連携による適切な資料の研究と充実 ◆障がい児等に対応したWebサービスの導入	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○電子媒体による資料の充実を引き続き進めた。 ○来館困難な児童に対して、郵送、宅配により図書を配本。 ※登録者数216人（うち12歳以下7人）、貸出冊数5,933冊、視聴覚資料465点（冊数・点数は、児童を含むサービス利用者全体） ○LLブックコーナーの充実	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○関係団体との連携強化と電子媒体による資料の充実を図っていく。	 <p>●LLブックコーナー</p>  <p>●更新した「拡大読書器」</p>	関係団体との連携・資料の研究	障がいのある子ども向け図書の研究と収集、関係団体との連携	情報環境の研究	障がい児対応サービス（HP上の文字の拡大、音声読み上げソフト対応） ○拡大読書器の更新(H30(2018))	LLブックコーナーの設置						
				【令和元年度（2019年度）取組結果】 ◆洋書絵本等の充実 ◆多文化理解のための各種行事の実施	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○前年度と違う言語の外国語絵本による児童向け読み聞かせ会（せかいの絵本おはなし会）2回（韓国語・ロシア語）実施。		洋書絵本所蔵数 (件) 2,750 3,097-4,127-4,213-4,774-4,317-4,188 2,750 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示の実施	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示の実施								
23-①	地域支援係	外国語の子どもの充実	◆洋書絵本等の充実 ◆多文化理解のための各種行事の実施	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○洋書絵本所蔵数3,188冊 ○外国語絵本による児童向け読み聞かせ会（せかいの絵本おはなし会）2回（韓国語・ロシア語）実施。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○前年度と違う言語の外国語絵本による児童向け読み聞かせ会を実施し、異文化理解を促進を図る。	洋書絵本所蔵数 (件) 2,750 3,097-4,127-4,213-4,774-4,317-4,188 2,750 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示の実施	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集し、目録作成と所蔵のPR 大学・海外交流団体等との連携による資料展示の実施									
23-②	えほん図書館	外国語の子どもの充実	◆洋書絵本等の充実	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○外国語の絵本は、英語絵本を中心に主な絵本各賞の受賞作品や札幌市の姉妹都市の言語である英語、中国語、韓国語、ドイツ語、ロシア語等の621冊を収集・提供している。 （蔵書冊数の内訳は、英語493冊、ドイツ語訳33冊、韓国語24冊、ロシア語20冊、中国語21冊、その他の言語30冊） ○図書館デビューにおいて、英語絵本の読み聞かせを取り入れたミニコンサートを実施した。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き絵本の賞の受賞作品等を参考にしながら、来館者のニーズに応えることができるよう情報収集し、未就学児向けの英語絵本等の収集に努めていく。 ○図書館デビューにおいて、英語絵本の読み聞かせを取り入れたミニコンサートを実施する。	 <p>●外国語絵本のコーナー</p>	えほん図書館への姉妹都市コーナー準備・設置	英語圏のほか、多様な言語文化圏の資料を収集									




基本方針3 広く情報を発信し、市民とともに成長する図書館

◆施策の方向性1◆ 積極的な情報発信																
24	総務係	ホームページや広報印刷物の充実	◆HPのコンテンツの充実を図る（ブックリストの掲載、近郊都市や大学研究機関の図書施設との相互リンクの作成など）。 ◆広報物の内容・種類の充実を図る。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○HPでは分かりやすい情報発信に努めた。 ○図書館広報誌（中央図書館だより）の発行を行った。 ○研修を実施し、各図書館だよりを充実。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○HPコンテンツの拡充及び有効な情報発信方法について検討する。		HP改修（レイアウト変更及び行事ページの実現）	HPのコンテンツを順次拡充	HPのスマートフォン対応及びデザインリニューアルを行った。	HPのリニューアル及びコンテンツを順次拡充	図書館広報誌の発行について検討す	図書館広報誌（中央図書館だより）の発行を行った。				
			◆普及事業の充実	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ＜児童向け行事＞ 日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力、わんわん読み聞かせ会（公益社団法人日本動物病院協会との共催）の実施 ＜児童・一般向け行事＞ 札幌市立高校生ポर्टランド派遣帰国報告会の実施（国際部との連携）、カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」 ＜一般向け行事＞ サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計5回）、美術への誘い（いざな）い（北海道美術館協会との共催、計2回）さっぽろ家庭読書フォーラム（学校教育部との連携）、「文字・活字文化の日」記念講演会、「子どもの読書」支援セミナー 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○図書館での実施意義を念頭に置きながらも、様々な機関との連携を積極的に進め、多様な情報発信事業の開催に努める。	 <p>●美術への誘い（北海道美術館協会との共催）</p>	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施			
25-①	地域支援係	普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各局や大学・関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○地元の企業サッポロビール株式会社、サッポロビール博物館と連携して、所蔵資料特別展「開拓使とビールのおいしい関係」と関連講演会「五稜星と開拓使、そして開拓使麦酒醸造所」を実施。 ○所蔵資料を活用したミニ展示を全10回実施したほか、資料展示やパネル展示を新たに実施。 ○札幌市各局や関係機関と連携した展示「札幌演劇シーズン2019夏～寺山修司×山田太一」、札幌市国際部と留学生セミナーを実施。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○10月に所蔵展（内容未定）と札幌市公文書館の職員による講演会を実施。さっぽろ資料室ミニ展示は月1回実施。	 <p>●所蔵資料特別展「開拓使とビールのおいしい関係」</p>	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施
25-②	調査相談係	普及事業の充実	読書に対する興味を一層広げるため、人と文化の新たな出会いの場を設ける。 ◆札幌にゆかりのある郷土史関係の研究者等の講演会などを行いながらネットワークを構築していく。 ◆札幌市各局や大学・関係機関との連携により、市民生活に役立つ講座を開催しながら関連分野の図書紹介も行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○地元の企業サッポロビール株式会社、サッポロビール博物館と連携して、所蔵資料特別展「開拓使とビールのおいしい関係」と関連講演会「五稜星と開拓使、そして開拓使麦酒醸造所」を実施。 ○所蔵資料を活用したミニ展示を全10回実施したほか、資料展示やパネル展示を新たに実施。 ○札幌市各局や関係機関と連携した展示「札幌演劇シーズン2019夏～寺山修司×山田太一」、札幌市国際部と留学生セミナーを実施。	【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○10月に所蔵展（内容未定）と札幌市公文書館の職員による講演会を実施。さっぽろ資料室ミニ展示は月1回実施。	 <p>●所蔵資料特別展「開拓使とビールのおいしい関係」</p>	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施	年度ごとに事業の柱を立てて実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）	参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）																	
				令和2年度（2020年度）の取組目標		2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2								
◆施策の方向性2◆ — 市民との協働 —																							
26-①	総務係	■満足度や評価についての調査の継続	◆日々利用者から寄せられる苦情・要望の分析（アンケートフォーム、市民の声を聞く課を通じた要望等） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上で公表した。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○日々寄せられるご意見・ご要望を取りまとめ、HP上での公表を継続する。	【満足度の推移（中央図書館及びえほん図書館、地区図書館）】 満足：84.1% (H23), 87.2% (H24), 84.8% (H25), 82.9% (H26), 82.8% (H27), 83.5% (H28), 91.4% (H29), 92.0% (H30), 89.4% (R元) 不満：10.8% (H23), 9.1% (H24), 11.1% (H25), 11.1% (H26), 12.8% (H27), 10.7% (H28), 6.6% (H29), 6.3% (H30), 8.2% (R元)	日々寄せられる苦情・要望へ対応 日々寄せられる苦情・要望の取りまとめ、統計化、HP上や館内掲示での公表																	
26-②	企画担当係	■満足度や評価についての調査の継続	◆市民の満足度調査として、利用者アンケートを実施（年度末） ◆これらについて、取りまとめた結果を公表（図書館協議会、WEB） ※H23年度（2011年度）：中央館+地区図書館、H24年度（2012年度）以降：区民・地区センター図書室への導入検討（区政課との協議）	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○平成31年（2019年）4月にHPにおいて、2018年度の利用者アンケート結果を掲載するとともに、中央図書館、地区図書館、えほん図書館において、各施設のアンケート結果を掲示した。 ○2019年度の利用者アンケート結果を次年度の取組等に反映させるため、中央館及びえほん館、図書・情報館、地区館について年内に取りまとめをした。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、令和元年度（2019年）と同様の時期に利用者アンケート調査を実施する。		中央館・地区館で利用者アンケートを実施し、翌年度WEB上で公表 中央館・地区館に加え、区民センター図書室等でも利用者アンケートを実施し、翌年度H.P上で公表 毎年度末までに利用者アンケートを実施・集計 ※年度中にH.P上で公表 ※中央図書館、地区図書館、区民・地区センター図書室等分 （平成29（2017）～えほん図書館、令和元（2019）～図書・情報館を加え） 利用者アンケート結果を各施設において掲示 ※中央図書館、地区図書館、えほん図書館、図書・情報館分																	
27-①	地域支援係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ＜児童向け行事＞ 日本ハムファイターズ読書推進全道キャンペーン（北海道主催）への参加協力、わんわん読み聞かせ会（公益社団法人日本動物病院協会との共催）の実施 ＜児童・一般向け行事＞ 札幌市立高校生ポर्टランド派遣帰国報告会の実施（国際部との連携）、カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」 ＜一般向け行事＞ サイエンス・フォーラムinさっぽろ（サイエンス・コンソーシアム札幌主催、計5回）、美術への誘い（いざない）（北海道美術協会の共催、2回）、さっぽろ家庭読書フォーラム図書局発表（学校教育部との連携） その他、CISE（※4）ネットワークと連携し、「調べる学習支援トランクキット」を学校図書館司書配置中学校を対象に貸出（30件）。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○社会の動きや市民ニーズを把握して幅広いテーマの事業を開催できるよう検討する。	 ●カルチャーナイト「本のおたのしみ袋」	毎年度の普及事業の企画の際に、関係団体等との連携拡大を図る 社会の動きや市民ニーズを把握した幅広いテーマの事業検討・実施																	
27-②	えほん図書館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○登録ボランティア団体によるおはなし会等各種行事の実施（登録11団体、開催67回） ○幼稚園、保育園等の団体利用（49件） ○保）動物管理センターと連携した、動物愛護をテーマとした展示を実施 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○登録ボランティア団体によるおはなし会等各種行事の実施 ○幼稚園、保育園等の団体利用の実施 ○R元年度に引き続き、保）動物管理センターと連携した、動物愛護をテーマとした展示を実施予定	 ●年齢別おはなし会（1～2歳）	毎年度の普及事業の企画の際に、目的に応じて関係団体等との連携を図る。 社会の動きや市民ニーズを把握した幅広いテーマの事業検討・実施																	
27-③	図書・情報館	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○外部専門団体との連携によりセミナーを開催した。（北海道よろず支援、行政書士会、リラコフ、北海道大学等、計10回） ○外部専門団体による無料相談会を2階カウンターにて毎週開催した。（日本政策金融公庫、北海道よろず支援拠点、法テラス、中小企業支援センター）計200回開催、相談件数222件 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、連携によりセミナーや無料相談会を行いながら、連携先を拡大し、より利用者にとっての情報を入手、相談の機会を提供していく。 ○無料相談窓口への相談件数が伸びていることから、周知に関して、様々な形での情報提供を行っていく。	 ●日本政策金融公庫との連携「創業セミナー」	関係団体との連携によるセミナーの実施 無料相談窓口の継続実施とPRの促進																	
27-④	企画担当係	■関係機関やボランティア団体との連携拡大	◆教育機関や市他部局、ボランティア団体との連携を図り、幅広いテーマの事業を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○第3次札幌市生涯学習推進構想での図書館の位置づけや図書館協議会からの答申「生涯学習社会の中で札幌市図書館が果たすべき役割について」も考慮に入れながら、図書館と生涯学習センターとの連携を核とした新たな生涯学習推進体制を構築していくための考え方である「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」を平成30年（2018年）4月に定め、図書館と生涯学習センターとの連携した事業を開始した。 ・「近所先生企画講座の実施「エッセイを書いてみよう（中央図書館）」、「自分の機種で学べる～ふれて楽しむスマホ&タブレット（同上）」、「100歳まで安心できるお金の話～単身世帯に必要な知識と備え～（同上）」、「最新テクノロジーで迫る日本古代史～ドローン・電子地図・動画を用いて～（同上）」、「片づけたくなる！私の家～台所・洋服・押入れを整理しよう～（東札幌図書館）」 ・札幌市民カレッジ講座の実施「手抜きに見えない時短ビジネスメイク術（図書・情報館）」、「好印象を与えるセルフコーディネート（同上）」、「さっぽろ10区めぐり～白石区編～（東札幌図書館）」、「はじめての短歌創作～色を詠む～（中央図書館）」 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き、「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の方針」に沿った事業を実施。	 ●札幌市民カレッジ講座（生涯学習センターとの連携事業）	第3次札幌市生涯学習推進構想策定 教育委員会内方針「図書館との連携を核とした新たな生涯学習推進体制の構築にむけた検討及び事業の実施」																	

第2次札幌市図書館ビジョン取組項目の進捗状況（令和元年度（2019年度））

緑色：検討 青色：一部（試行）実施 赤色：本格実施

No.	担当	取組項目	具体的な取組内容	令和元年度（2019年度）の取組結果（成果・課題）		参考（グラフ・写真・ホームページ等）	取組時期（年度）											
				令和2年度（2020年度）の取組目標			2011 平成23	2012 平成24	2013 平成25	2014 平成26	2015 平成27	2016 平成28	2017 平成29	2018 平成30	2019 令和元	2020 令和2		
28-①	総務係	■ボランティアの活躍の場の提供	◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。 ◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。 ◆活動の場としての環境整備を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○随時活動の場を提供した。 令和元年度（2019年度）実績 8団体に対し研修室等の貸出を行った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続き活動の場を提供する。		【中央図書館研修室等の貸出件数の推移】 138件 （平成28年度末（2016年度末）） → 51件 （平成29年度末（2017年度末）） ※閉館期間あり → 120件 （平成30年度末（2018年度末）） → 119件 （令和元年度末（2019年度末））	随時活動の場を提供を行う											
28-②	えほん図書館	■ボランティアの活躍の場の提供	◆ボランティア活動の活躍の場の抽出を行い、条件整理のうえ、ボランティア団体への声かけを行う。 ◆ボランティア保険の基準策定と対象範囲の整理を行う。 ◆活動の場としての環境整備を行う。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○ボランティア団体の活動の場として登録11団体による読み聞かせ会の開催（67回） ○えほん図書館サポーターによるフロアワークや絵本の修理等のサポート ○えほん図書館サポーター向けに絵本の修理実習講座を実施 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続きボランティア団体に活動の機会を提供していくとともに、えほん図書館サポーター向けの工作実習兼絵本の修理講座を継続開催し、絵本の修理が可能な人材を育成していく。	 ●登録団体による読み聞かせ	 ●サポーター向け「絵本の修理講座」	随時活動の場を提供を行う 登録制度開始 ・ボランティア活動の支援 ・交流会の実施 ・活動実態把握・発信、今後の関わり方の検討											
◆施策の方向性3 ◆ ー 将来に渡って持続可能な図書館運営 ー																		
29	図書・情報館	■都心にふさわしい図書館の検討	◆北1西1地区再開発事業として整備する「札幌市民交流プラザ」内に、札幌市図書・情報館を開設（平成30年度（2018年度）予定）するため、再開発準備組合が行う基本・実施設計との調整等を進める。 ◆図書館協議会等の意見を踏まえ、都心にふさわしい図書館の機能（対象、規模、運営体制、位置づけ等）の検討を進める。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○令和元年度（4月～2月）の来館者数 約89万人 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○令和2年度（2020年度）に実施する事業の詳細については、事業No4-②、8-②、12-⑤、13-③、27-③に記載のとおり。 ○蔵書については、各分野の専門家の意見を選言に取り入れることなどによる資料の充実を図る。	 ●図書・情報館2階（予約席（手前）と自由席（奥））		市民交流複合施設 ● 施設計画の検討 ● 整備基本計画策定 ● 調査研究 ● 運営計画の検討 ● 開設準備 ● 供用開始	再開発事業 ● 基本計画 ● 基本設計 ● 実施設計 ● 着工 ● 竣工										
30	総務係	■計画的な施設・設備の改修	◆中央館・地区館の施設の問題点整理 ◆書庫拡大への検討・調整に伴う、施設整備計画（中央館：書庫増設や駐車場有料化の検討、地区図書館：エレベータ設置による会議室転用など書庫の配置を検討）の策定 ◆バリアフリーに対応した改修計画作成・実施 ◆保全計画など市関連部局の施策と連携した施設整備	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○環図書館の外部、電気設備、冷暖房衛生設備、小荷物専用昇降機設備の改修工事及び澄川図書館の屋上防水ほか改修工事を実施。書庫スペースの確保についても、関係部署と引き続き調整を行った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○西岡図書館のエアコン・エアーカーテンの更新・保全工事を行う。書庫スペースの確保についても、引き続き埋蔵文化財センターや関係部署と調整していく。	 ●環図書館の外壁の改修工事		中央館及び地区館のトイレ改修を実施 ● 書庫増設に向けての調査 ● 新琴似・元町・澄川でバリアフリー化実施 ● 書庫増設に向けての検討	中央図書館大規模改修の検討 ● 中央館大規模改修及び地区図書館の改修の実施 ● 地区図書館の改修の実施										
31	企画担当係	■民間活力導入の検討	◆第2次札幌市図書館ビジョンに掲げるサービスを実現できるよう、民間活力の導入の効果と課題を配慮しながら、業務委託を検討していく。	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○方向性について検討を行った。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○効果と課題に十分配慮しながら引き続き検討を進める。			関係部署・団体との協議 ● 関係部署・団体との協議 ● 民間活力導入拡大の検討	民間活力導入拡大の検討										
32	総務係・図書館サービス係	■図書、資料の充実に向けた寄付の促進	◆図書資料の市民からの寄付喚起（ホームページや広報誌でのPR） ◆図書購入費への充当を目的とした金銭の寄付喚起 ◆図書館備品等の寄贈の呼びかけ	【令和元年度（2019年度）取組結果】 ○HP掲載により寄付喚起を行った。 ○市職員へ図書の寄贈を呼びかけ、488冊の寄贈を受けた。 【令和2年度（2020年度）取組目標】 ○引き続きHP掲載により寄付喚起を行う。	 ●札幌市図書館HP「寄贈のおねがい」		HPによる継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施	HPに加工リーフレットの作成を検討し、継続的な市民・関連団体への寄付依頼の実施										

